

日刊建設通信新聞（2026年6月18日付3面掲載）

【関西エリアで初の指定管理事業開始 オリコンサル・防災公園「海南ハレアメ」】

関西エリアで初の 指定管理事業開始

オリコンサル・防災
公園「海南ハレアメ」

オリエンタルコンサルタン
ツは12日、同社が4月から指

定管理事業者として手掛ける和歌山県海南市の市民防災公園・海南体験学習館「海南ハレアメ」が開園した。4月29日に、来園者が約1万人に上ったことを明らかにした。同社が関西エリアで指定管理事業者になるのは初のことで、海南ハレアメが幸先の良いスタートを切った実績となる。

海南ハレアメは、親子・ファミリー層を中心に日常の中で楽しみながら防災に触れ、災害時に役立つ知識や体験を身に付けることができる公園で、防災機能も備えている。

平時は遊びや学びの場となる公園として、災害時は復旧・復興の拠点として地域を支える。園内は雨の日や暑い日も遊べるハレアメドームの室内遊具、子どもから大人まで楽しめるアスレチックや大型屋外遊具、県内最大級となる3000平方メートルの広さを誇る人工芝ドッグランやカフェといった多彩なコンテンツを備える。

同社は公園の設置目的である『市のシンボルとして多機能な公園かつ防災公園関連の活動拠点』を踏まえ、投資事業として五つの自主事業を展開している。5事業とはカフェ、バーベキュー、マウンテンバイク、重機練習場事業、太陽光PPA（電力購入契約）だ。指定管理事業と一体となった自主事業により、公園を核とした地域のにぎわい創出に加え、防災意識の向上と普及啓もうを図る。

自主事業の実施に当たり、ヤマハ発動機や山守人（山梨県市川三郷町、弭間亮代表取締役）、コベルコ教習所をはじめとした地域企業や地域団体と連携しており、官民連携による持続可能な公園運営に今後も取り組む。